

田布施町地域公共交通計画 (概要版)

発行：田布施町地域公共交通協議会（田布施町 経済課）
山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1
作成：令和6年(2024年)3月

1 計画策定の目的

- 少子高齢化、自家用車中心の生活の定着による利用者の減少
- 地域公共交通を維持するための財政負担の増加や「2024年問題」による地域公共交通の担い手不足の深刻化によるサービス低下(廃止・減便等)
- 高齢化に伴う免許返納者数の増加、高校再編等の影響による通学ニーズの変化

多様な主体との共創、連携強化等を通じて、地域公共交通のリ・デザイン(再構築)を進め、持続可能な移動サービスを確保していくため、「**地域公共交通計画**」を策定

2 計画の対象区域

田布施町全域

3 計画期間

令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)の5年間

4 現状とまちづくりの方向性

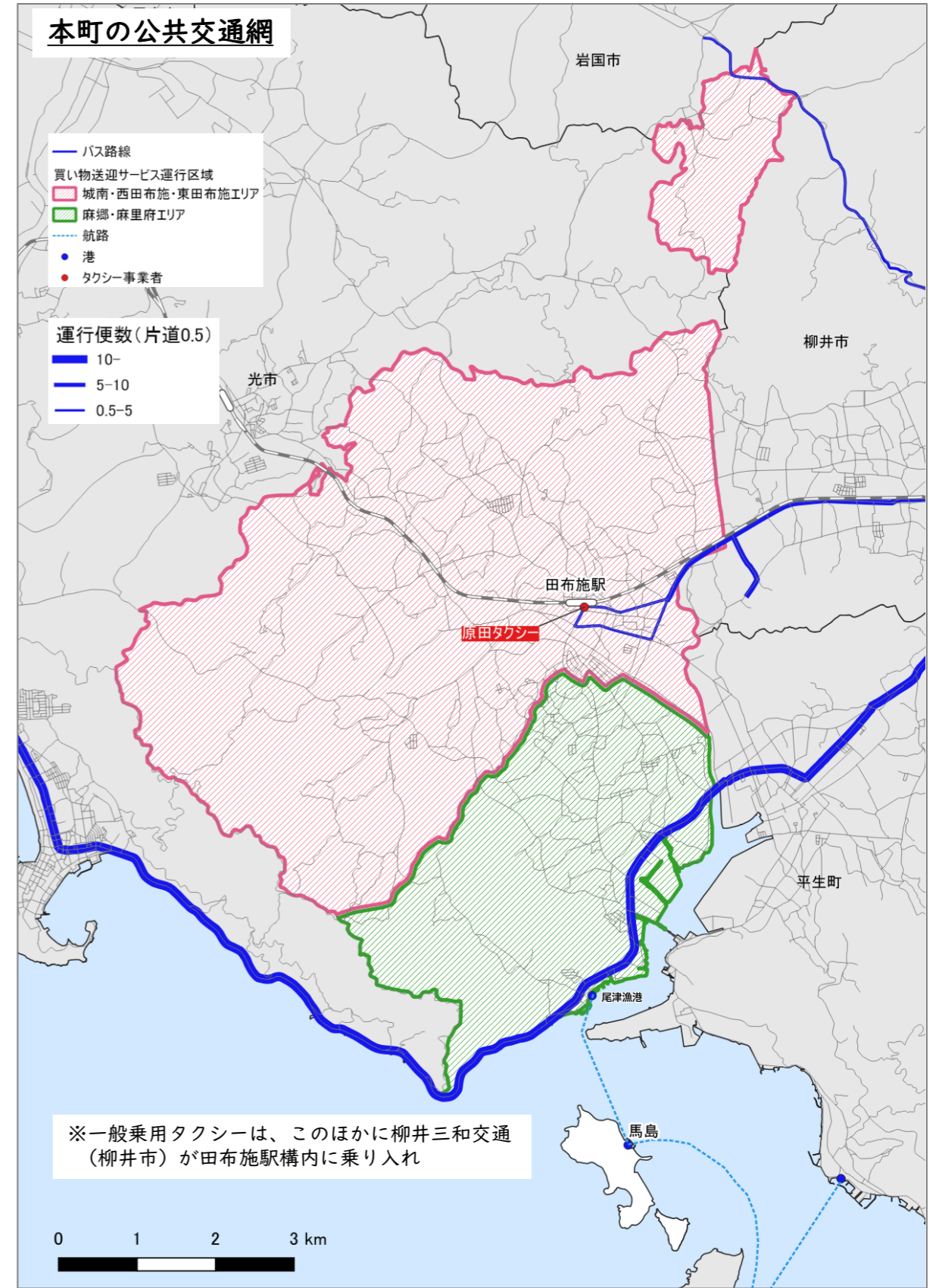
人口	<ul style="list-style-type: none">● 町の中心部である田布施駅や役場周辺に人口がやや集中しているが、国道188号沿いにも人口密度がやや高い場所がみられる● 高齢化率が令和17年には約40%を超えると予測されており、0~14歳の人口は令和2年から令和27年には約50%、15~64歳人口が約40%減少する予測(国立社会保障・人口問題研究所 平成30年推計)
施設分布	<ul style="list-style-type: none">● 町役場や商業施設、医療機関は、おおむね駅周辺に集中している
観光	<ul style="list-style-type: none">● 田布施町役場付近にある田布施町地域交流館のほか、馬島など海や自然に恵まれた観光資源がある
まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none">● 総合計画における目指す将来像「~いのち育み 未来へつなぐ~ 笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施」● 第2期田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「基本目標4 持続可能で元気な地域社会の形成」のなかで、交通弱者の移動手段として買い物送迎サービス事業の拡大を設定

5 公共交通の現状

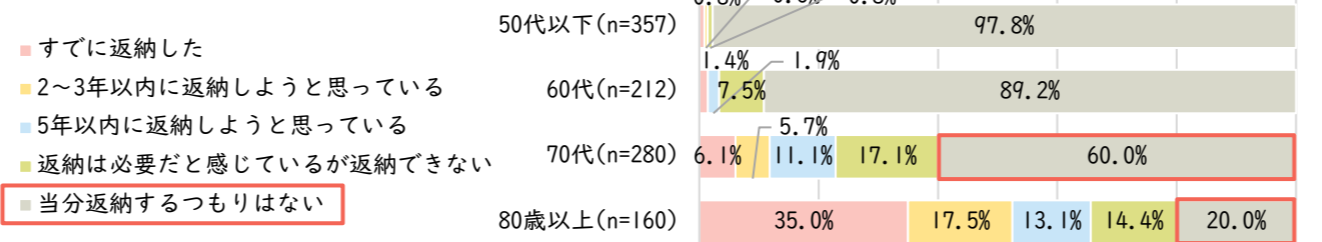
鉄道	<ul style="list-style-type: none">● JR山陽線が運行● 利用者数が減少傾向
路線バス	<ul style="list-style-type: none">● 防長交通が運行● 田布施~広島バスセンターへの高速バスが、コロナ禍の影響を受け、令和5年3月に廃止● 利用者数が減少傾向
買い物送迎サービス	<ul style="list-style-type: none">● 社会福祉協議会が運行主体となり、町内在住の65歳以上を対象に行っている● 登録者数、利用者数とも増加傾向
タクシー	<ul style="list-style-type: none">● 町内に1社あるほか、柳井市のタクシー事業者1社が、田布施駅の構内営業権を取得して乗り入れ● 利用者数が減少傾向
海上交通	<ul style="list-style-type: none">● 熊南総合事務組合が運航主体となり、尾津漁港~馬島~佐合島~佐賀航路を運航● 令和4年度の利用者数は前年度に比べ10%以上増加

6 公共交通の利用実態、移動ニーズ

- | | |
|-------|---|
| 利用実態 | <ul style="list-style-type: none">● 車(自分で運転)で買い物や通院する町民が75%前後となっている● 免許返納意向として、「当分返納するつもりはない」と70代では60.0%、80歳以上でも20.0%が回答している● 買い物送迎サービスの「予約が前日までしかできない」「予約するのが面倒」といった予約に対する不安が、困りごととして挙げられている |
| 移動ニーズ | <ul style="list-style-type: none">● 買い物・通院・通勤は町内だけでなく、平生町や柳井市、光市といった周辺市町へのニーズがある● 通学に関しては、令和8年度の県立高校再編に伴う新たなニーズに対応していかなければならない |

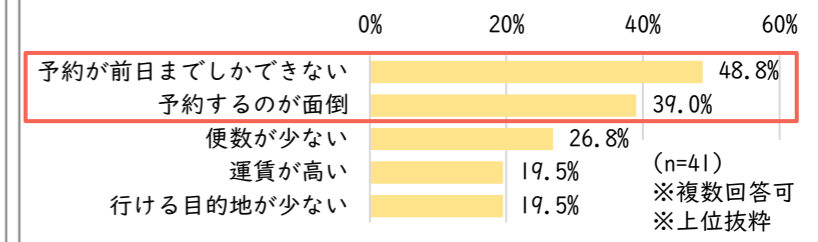


免許返納意向



(町民アンケート結果より)

買い物送迎サービスにおける困りごと



(買い物送迎サービス利用者アンケート結果より)

7 公共交通を取り巻く問題点、課題／8 基本方針、目標達成のための事業

公共交通を取り巻く問題点	公共交通の課題
問題点① 地域内交通が不十分 町の現在と将来の状況を見据えた公共交通や移動サービスが不十分で、利用するための仕組みや設備が不足	課題① 公共交通の位置付けの明確化
問題点② 移動ニーズへの対応が不十分 各主体（高校生、高齢者など）の移動ニーズは隣接自治体への需要が多くなってきているのに対して、公共交通や移動サービスが十分に対応できていない	課題② 幹線交通の利便性向上
問題点③ 公共交通の収支率の悪化 公共交通利用者が減少する中、増大する行政負担額とのバランスをどうするかが問題	課題③ 買い物送迎サービスの改善
問題点④ 買い物送迎サービスの見直しの必要性 高齢者は将来の移動手段に不安を感じている。買い物送迎サービスの登録者は7割以上が80歳代以上となっており、高齢者の移動を支える役割となっている	課題④ 航路の維持・活性化
問題点⑤ 各交通事業者間の連携が不十分 高校生からJR・路線バスのサービス改善として「他の交通手段との接続をよくする」という回答が多くある	課題⑤ 公共交通の利用促進
問題点⑥ 公共交通の担い手（運転手）確保の困難さと事業存続の危機的状況 交通事業者における人手不足は深刻な状況であり、持続可能な交通環境に向けての対策を検討する必要がある	課題⑥ 持続可能な公共交通事業の推進
問題点⑦ 交通結節点の待合環境の不備と不便さ JR田布施駅は駅舎が古く、バリアフリー化がなされておらず、駅に駐車場が少ない点も不便と感じている。トイレや待合環境の整備などには改善の余地がある	課題⑦ 持続可能な公共交通事業の推進
問題点⑧ 生活拠点施設と公共交通の連携が不足 医療施設や商業施設などの生活拠点が集まる中心エリアへ出かけることが、不便な地域がある	課題⑧ 各種主体との連携と共創による交通まちづくり



基本理念（計画の基本となる考え方）

田布施町の暮らしと利便を支える持続可能な公共交通

基本方針①	まちの実情に合った公共交通サービス	[目標 1-1] 利用者の利便性を向上するための公共交通サービスの改善
		[目標 1-2] 町内移動を支える買い物送迎サービスの改善
		[目標 1-3] 高校生の通学を支える公共交通サービスの改善
基本方針②	みんなで支える持続可能な公共交通	[目標 2-1] 持続可能な公共交通とするための利用促進
		[目標 2-2] 公共交通の担い手確保と事業性向上
基本方針③	様々な主体との連携と共創による交通まちづくり	[目標 3-1] 様々な主体との連携・共創による交通まちづくり

目標	評価指標	
	現状値／R5年度(★印はR4年度)	目標値／R10年度
[目標 1-1] 利用者の利便性を向上するための公共交通サービスの改善	評価指標① 町民アンケートの困りごとにおける「分かりにくい」のポイント数	
	「時刻表が分かりにくい」 9.3%	9.0%以下
	「経路が分かりにくい」 9.4%	9.0%以下
	「行き先が分かりにくい」 6.0%	5.0%以下
[目標 1-2] 町内移動を支える買い物送迎サービスの改善	事業① 田布施駅周辺環境の改善	
	事業② 航路の運航サービスの継続的な改善	
	評価指標② 買い物送迎サービスの年間利用者数	
	540人★	3,600人以上
[目標 1-3] 高校生の通学を支える公共交通サービスの改善	事業③ 町内の移動を支える買い物送迎サービスの改善	
	評価指標③ 通学における高校生の公共交通利用者率	
	「公共交通機関を利用している」 65.3%	66.0%以上
[目標 2-1] 持続可能な公共交通とするための利用促進	事業④ 路線バスサービスの継続的な改善	
	評価指標④ 公共交通の利用者数	
	鉄道 987人/日★	1,000人/日以上
	路線バス 127,505人★	127,500人以上
	買い物送迎サービス 540人★	3,600人以上
	航路 20,212人★	20,200人以上
[目標 2-2] 公共交通の担い手確保と事業性向上	事業⑤ 公共交通に係る情報提供施策の推進	
	事業⑥ 公共交通の利用促進施策の展開	
	評価指標⑤ 新たな運転士確保に向けた取組件数	
	(データなし)	毎年1件以上
	評価指標⑥ 補助路線における収支率	
	路線バス 34.5%★	35.5%以上
買い物送迎サービス 11.8%★	15.0%以上	
[目標 3-1] 様々な主体との連携・共創による交通まちづくり	評価指標⑦ 補助路線における行政負担額	
	路線バス 4,007千円★	4,400千円以下
	買い物送迎サービス 1,008千円★	12,000千円以下
	事業⑦ 運転士確保のための事業推進	
[目標 3-1] 様々な主体との連携・共創による交通まちづくり	評価指標⑧ 町内生活拠点と共創による公共交通活性化事業の数	
	(データなし)	5件
事業⑧ 様々な主体との連携と共創による公共交通の魅力向上		